

第三者意見・検証報告

信頼性を高めるとともに、社会の期待に応えるレポートとするため、第三者意見・審査をいただきました。

第三者意見



水尾 順一 氏

駿河台大学名誉教授・博士（経営学）
一般社団法人 日本コンプライアンス &
ガバナンス研究所代表理事／会長

（株）資生堂から、駿河台大学教授・経済研
究所長等を経て2018年3月末退職、現在
に至る。2010年ロンドン大学客員研究員
他。著書「マーケティング倫理が企業を救う」
生産性出版など多数。

オカムラグループ（以下、同社）のSustainable Report 2026
について、企業で経営倫理の実務を推進し、大学とその後の
現・研究所でも理論構築を通じて「CSR／SDGsの理論と実践
の融合」を促進してきた立場から、以下に第三者意見を申し述べ
ます。

高く評価できる点：

当レポートから「共感」をキーワードと受け止め、
「人が活きる社会の実現」にむけた取り組みを
十分に感じ取ることができます。

オカムラウェイの実現に向けた同社の基本姿勢「SMILE」は、同
社にかかわるすべてのステークホルダー（利害関係者）の“笑顔”
のためにあることがよく理解されます。

同社のパーパスである「人が活きる社会の実現」には、「SMILE」
をめざして「共感」を抱きつつ、全社一丸となってチャレンジする
ことが重要です。これこそ、経済学者のアダム・スミスが提唱し
た「Sympathy（シンパシー：共感）」であり、彼は国家や組織の
求心力を高め繁栄に結びつく感情であると指摘しています。

同社はサステナブル未来会議の開催で、パーパスである「人が

活きる社会の実現」に向けた歩みを加速させました。当会議の
開催も仲間たちと共にすすめる活動の一つで、オカムラウェイの
根底に流れる同社のDNAが具現化された取り組みであると感じ
取ることができます。

また、本レポートの「働きがい改革 WiL-BE 2.0」の5つのア
クションにある「Inner Communication（社内活性）」「Human
Development（人材育成）」「Work Rule（制度）」「Work
Smart（デジタル技術）」「Work Place（環境）」も、相互に「共
感」の思想があってこそ成り立つものです。

こうした取り組みの結果、German Design Awardでの受賞や
日本子育て支援大賞2025など、数多くの受賞に結びつき社会
から高い評価を得ていることが理解されます。

今後に期待する点：

「オカムラサステナブル未来コミュニティ」の
創設で得た知を通じて、
課題解決のヒントを得ることを祈念しています。

今後はこのサステナブル未来会議を継続開催し、参加者ネット
ワーク「オカムラサステナブル未来コミュニティ」の組織化を図る
ことで草の根の取り組みが促進され、サステナビリティに関する
「知の蓄積」が期待できます。さらには未来コミュニティから提案
された「知」の具現化で同社の重要な課題解決のヒントを得るこ
とも可能となります。

提案されたヒントは、重要課題解決に向けて役員会も含めて全
社で検討されることを祈念します。その際に忘れてならないの
は、次のメッセージと考えます。

「持続可能性」につながるエコロジー（環境）、ソーシャル（社会）、
ワーク（働きがい）の3つを忘れた組織はステークホルダーから

の共感を得られない、また、「利益」を創出するビジネスを忘れ
ては組織の存続もありえないということで、企業経営は「サステ
ナビリティ」と「プロフィット」の両立にあることを肝に銘じておき
たいものです。

作家のレイモンド・チャンドラーが主張した有名な言葉「強くな
ければ生きていけない、やさしくなければ生きている資格がな
い」は、人間だけでなく企業にとっても大切な言葉です。同社の
持続可能な発展を心から祈念しております。

第三者意見を受けて

「オカムラグループ Sustainability Report 2026」の発
行にあたって、多くの分野のステークホルダーの皆さまより
貴重なご意見を多数いただき、それらのご意見を参考に
した上で、持続可能な社会の構築に向けた、当社グループ
の取り組みを報告させていただきました。水尾先生には、
ご専門のお立場から忌憚のないご意見を頂戴し、お礼を申
上げます。

「サステナブル未来会議」や「働きがい改革 WiL-BE2.0」
など、従業員の「共感」を重視する各取り組みについて、高
く評価いただきました。また今後への期待として「サステ
ナブル未来会議」の発展により、草の根の取り組みが促進
され、サステナビリティに関する「知の蓄積」さらにはそこ
から生まれる社会課題の解決、サステナビリティと利益の
両立への繋がりについてお言葉を頂戴しました。これは正
に課題と考えておるところです。いただいたお言葉を参考
に、取り組みが定着する工夫、仕組化等を検討して参ります。

取締役 専務執行役員 佐藤 喜一

第三者検証報告



第三者検証報告（環境データ）

https://www.okamura.co.jp/corporate/sustainability/report/pdf/2026/third_party_opinion_ed.pdf

独立保証報告書

株式会社オカムラ 殿



ビューローベリタスジャパン(以下、ビューローベリタス)は、株式会社オカムラ(以下、オカムラ)の委嘱に基づき、オカムラによって選定されたサステナビリティ情報に対して限定的保証業務を実施した。この保証報告書は、以下に示す業務範囲内に含まれる関連情報に適用される。

選定情報

我々の業務範囲は、「オカムラグループサステナビリティレポート2026」(以下、レポート)に記載された、2025年4月1日から2026年3月31日までの期間の、以下の情報(「選定情報」)に対する保証に限定される。

- ・エネルギー使用量
 - ・温室効果ガス排出量
 - スコープ1及びスコープ2排出量(エネルギー起源 CO₂, CH₄, N₂O, HFCs)
 - スコープ3排出量(カテゴリー1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 11, 12)
 - ・取水量、排水量、循環利用水量
 - ・産業廃棄物排出量、再資源化量、最終処分量
 - ・SOx/NOx 排出量
 - ・BOD/COD 排出量
 - ・PRTR 対象化学物質(取扱量、排出量、移動量)
- 但し、各データにおける報告範囲はオカムラの決定に基づく。

報告規準

レポート内に含まれる選定情報は、レポートに記載された報告規準と共に読まれ理解される必要がある。

限定と除外

以下に関する情報のいかなる検証も、我々の業務範囲からは除外される。

- ・定められた検証期間の外での活動
- ・「選定情報」として挙げられていない、レポート内の他の情報

限定的保証は、リスクに基づいて選択されたサステナビリティデータのサンプルと、これに伴う限界に依拠している。この独立報告書は、存在するかもしれないすべての誤り、欠損、虚偽表示を検出するための根拠とされるべきではない。

責任

レポート内の保証の対象とされた情報の作成と提示は、オカムラ単独の責任である。ビューローベリタスはレポート又は報告規準の作成に関与していない。我々の責任は、以下の通りである。

- ・保証の対象とされた情報が報告規準に準拠して作成されたかどうかについて、限定的保証を行うこと
- ・実施した手続きと入手した証拠に基づいて、独立した結論を形成すること
- ・我々の結論をオカムラに報告すること

Ref: BVJ_30429350



INDEPENDENT ASSURANCE STATEMENT

To: Okamura Corporation



Bureau Veritas Japan Co., Ltd. (Bureau Veritas) has been engaged by Okamura Corporation (Okamura) to provide limited assurance over sustainability information selected by Okamura. This Assurance Statement applies to the related information included within the scope of work described below.

Selected information

The scope of our work was limited to assurance over the following information included within Okamura Group Sustainability Report 2026 (the Report) for the period of April 1, 2025 through March 31, 2026 (the 'Selected Information'):

- ・ Energy usage
- ・ Greenhouse gas emissions
 - Scope 1 and Scope 2 emissions (CO₂ from energy use, CH₄, N₂O and HFCs)
 - Scope 3 emissions (Category 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 11 and 12)
- ・ Water usage, Water discharged and Volume of water used for circulation
- ・ Industrial waste discharged, Waste recycled and Final disposal waste
- ・ SOx/NOx emissions
- ・ BOD/COD emissions
- ・ Japanese PRTR (Pollutant Release and Transfer Register) designated substances (Volume handled, emissions and transfers)

Note: The reporting boundaries for each data are defined by Okamura.

Reporting criteria

The Selected Information included within the Report needs to be read and understood together with the reporting criteria stated in the Report.

Limitations and Exclusions

Excluded from the scope of our work is any verification of information relating to:

- Activities outside the defined verification period;
- Any other information within the Report, which is not listed as the 'Selected Information'.

This limited assurance engagement relies on a risk based selected sample of sustainability data and the associated limitations that this entails. This independent statement should not be relied upon to detect all errors, omissions or misstatements that may exist.

Responsibilities

This preparation and presentation of the Selected Information in the Report are the sole responsibility of the management of Okamura.

Bureau Veritas was not involved in the drafting of the Report or of the Reporting Criteria. Our responsibilities were to:

Ref: BVJ_30429350





第三者検証報告（社会性データ）

https://www.okamura.co.jp/corporate/sustainability/report/pdf/2026/third_party_opinion_sd.pdf

独立保証報告書

株式会社オカムラ 殿



ビューローベリタスジャパン（以下、ビューローベリタス）は、株式会社オカムラ（以下、オカムラ）の依頼に基づき、オカムラによって選定されたサステナビリティ情報に対して限定的保証業務を実施した。この保証報告書は、以下に示す業務範囲内に含まれる関連情報に適用される。

選定情報

我々の業務範囲は、オカムラグループ サステナビリティ レポート 2026（以下、レポート）に記載された、2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日（※一部データに関しては 2025 年 3 月 21 日から 2026 年 3 月 20 日）までの期間の以下の情報（「選定情報」）に対する保証に限定される。

オカムラ

- ・男女間の賃金格差（男性の賃金に対する女性の賃金の割合） 全従業員_2025 年度分
- ・男女間の賃金格差（男性の賃金に対する女性の賃金の割合） 正規従業員_2025 年度分
- ・男女間の賃金格差（男性の賃金に対する女性の賃金の割合） 非正規従業員_2025 年度分
- ・育児休職取得率 合計_2025 年度分
- ・育児休職取得率 男性_2025 年度分
- ・育児休職取得率 女性_2025 年度分
- ・従業員のダイバーシティ 男女別管理職比率 男性_2025 年度分
- ・従業員のダイバーシティ 男女別管理職比率 女性_2025 年度分
- ・障がい者雇用率 雇用障がい者数_2025 年分
- ・障がい者雇用率 実雇用率_2025 年分
- ・平均年間給与_正規従業員_2025 年度分
- ・平均年間給与の対前年比増減率_正規従業員_2025 年度分

報告規準

レポート内に含まれる選定情報は、レポートに記載された報告規準と共に読まれ理解される必要がある。

限定と除外

以下に関する情報のいかなる検証も、我々の業務範囲からは除外される。

- ・定められた検証期間の外での活動
- ・「選定情報」として挙げられていない、レポート内の他の情報

限定的保証は、リスクに基づいて選択されたサステナビリティデータのサンプルと、これに伴う限界に依拠している。この独立報告書は、存在するかもしれないすべての誤り、欠損、虚偽表示を検出するための根拠とされるべきではない。

責任

レポート内の保証の対象とされた情報の作成と提示は、オカムラ単独の責任である。

Ref: BVJ_30429362



INDEPENDENT ASSURANCE STATEMENT

To: Okamura Corporation



Bureau Veritas Japan Co., Ltd. (Bureau Veritas) has been engaged by Okamura Corporation (Okamura) to provide limited assurance over its sustainability information selected by Okamura. This Assurance Statement applies to the related information included within the scope of work described below.

Selected information

The scope of our work was limited to assurance over the following information included within the Sustainability report 2026 (the report) of Okamura Group for the period of April 1, 2025 through March 31, 2026 (some data is from March 21, 2025 to March 20, 2026) (the 'Selected Information'):

Okamura

- Gender wage gap (ratio of women's wages to men's wages); All employees Fiscal 2025
- Gender wage gap (ratio of women's wages to men's wages); Regular employees Fiscal 2025
- Gender wage gap (ratio of women's wages to men's wages); Non-regular employees Fiscal 2025
- Childcare leave acquisition rate; Total Fiscal 2025
- Childcare leave acquisition rate; Male Fiscal 2025
- Childcare leave acquisition rate; Female Fiscal 2025
- Employee diversity Percentage of managers by gender; Male Fiscal 2025
- Employee diversity Percentage of managers by gender; Female Fiscal 2025
- Employment rate of people with disabilities: Number of employed people with disabilities 2025
- Employment rate of people with disabilities: Actual employment rate 2025
- Average annual salary; Regular employees Fiscal 2025
- Average annual salary Rate of change as compared to previous year; Regular employees Fiscal year 2025

Reporting criteria

The Selected Information included within the report needs to be read and understood together with the reporting criteria stated in the report of Okamura group.

Limitations and Exclusions

Excluded from the scope of our work is any verification of information relating to:

- Activities outside the defined verification period;
- Any other information within the report, which is not listed as the 'Selected Information'.

This limited assurance engagement relies on a risk based selected sample of sustainability data and the associated limitations that this entails. This independent statement should not be relied upon to detect all errors, omissions or misstatements that may exist.

Responsibilities

This preparation and presentation of the Selected Information in the report are the sole responsibility of

Ref: BVJ_30429362

